《第101回》令和三年十一月の作品

〈十一月十二日（金）　於・文京シビックセンター５Ｄ〉

訪ね来て古刹の庭の石蕗の花　（隆治）

砲声や紅葉の映ゆる富士の裾　（孝昭）

佃の渡し知る人は稀花芒　（清助）

秋深し孫に教へる秘密基地　（前歩）

床上げに葛湯を溶かし滋養かな　（正佳）

懐かしき刈田の煙今ここに　（正雄）

石段を照らす灯籠紅葉宿　（奉男）

深夜放送

白秋忌童謡流す深夜便　（貴美）

秋深しつながれしままの屋形船　（平六）

風呂吹やふと故郷を思ふとき　（一江）

寂聴逝く

愛し書き祈りし女（ひと）や実南天　（芙紗）